

みずほCustomer Desk Report 2022/08/25号 (As of 2022/08/24)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	136.92 AUD/USD
TKY 9:00AM	136.75	0.9966	136.35	1.1829	0.6920
SYD-NY High	137.23	1.0000	136.78	1.1836	0.6932
SYD-NY Low	136.18	0.9910	135.53	1.1757	0.6880
NY 5:00 PM	137.12	0.9970	136.76	1.1791	0.6907

	終値	(前日比)	終値	(前日比)
NY DOW	32,969.23	59.64	日本2年債	▲0.0900%
NASDAQ	12,431.53	50.23	日本10年債	0.2200%
S&P	4,140.77	12.04	米国2年債	3.4018%
日経平均	28,313.47	▲139.28	米国5年債	3.2358%
TOPIX	1,967.18	▲4.26	米国10年債	3.1086%
シカゴ日経先物	28,465.00	0.00	独10年債	1.3600%
ロンドンFT	7,471.51	▲16.60	英10年債	2.6950%
DAX	13,220.06	25.83	豪10年債	3.6360%
ハンセン指数	19,268.74	▲234.51	USDJPY 1M Vol	11.94%
上海総合	3,215.20	▲61.02	USDJPY 3M Vol	11.69%
NY金	1,761.50	0.30	USDJPY 6M Vol	11.14%
WTI	94.89	1.15	USDJPY 1M 25RR	0.12%
CRB指数	298.86	2.55	EURJPY 3M Vol	12.35%
ドルインデックス	108.68	0.05	EURJPY 6M Vol	12.08%

東京	東京時間のドル円は136.75レベルでオープン。朝方は米ミネアポリス連銀・カシュカリ総裁のインフレ率押し下げに対する効派姿勢や仲値にかけて実需の買いから137.03まで上昇。午後に入り、岸田首相の訪日外国人の入国緩和の発言に伴うインバウンド拡大への期待感からか、クロス円・ドル円での円買いにより136.38まで下落も、下落一巡後は方向感なく推移し136.71レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、136.71レベルでオープン。ドルは対ユーロやポンドで引き続き買われたがドル円は方向感なく推移。朝方136.18まで下落する場面があるも、その後切り返し136.71レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は136円後半でスタート。米長期金利が3%台で底堅く推移するほか、カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁の効派色の強い発言を受けてドル買いが強まり、一時137.03まで上昇するが、その後136円前半はまで反落。その後、米金利上昇とともに136円後半まで買い戻されるが、前日NY時間での大幅な下落が意識されたためか、再び売りが強まり136.18まで下落。しかし、すぐに買い戻しが入り、結局、クロス円付近の136.71レベルでNYオープン。朝方は136.56下落する場面もあったが、その後、米長期金利が約2ヵ月ぶりとなる3.1%台まで上昇する動き眺めながら137.23まで上昇。しかし、ロンドンフィクシングにかけて対ユーロのドル売りが波及したことから136.70まで反落。午後は米5年債入札の低調や結果を受けて米金利が継続したことや終盤にかけて米株が買われたことから円売り優勢となり、137円台前半でしっかり。結局、137.12レベルでのクロスとなった。一方、海外市場のユーロドルは0.99レベル後半でスタート。引き続きユーロ圏の景気後退懸念やウクライナの独立記念日を意識したロシアによる攻勢が激化すると警戒感が高まる中、上値重い推移が継続。早朝には0.9917まで下押し、0.9927レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、安値0.9910をつけるが、ロンドンフィクシングにかけてユーロのショートカバーが強まり、1.0000まで急反発。一巡後、0.9950近辺まで反落するが、米株高を好感したユーロ円上昇にサポートされ、0.9976までじり高推移。結局、0.9970レベルでクロス。

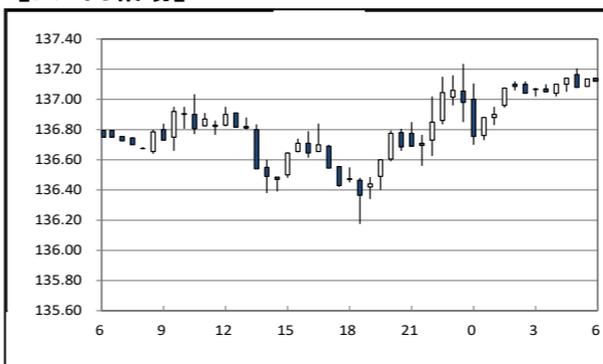
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月24日	21:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	7月 0.0%	0.8%
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	7月 -1.0%	-2.6%

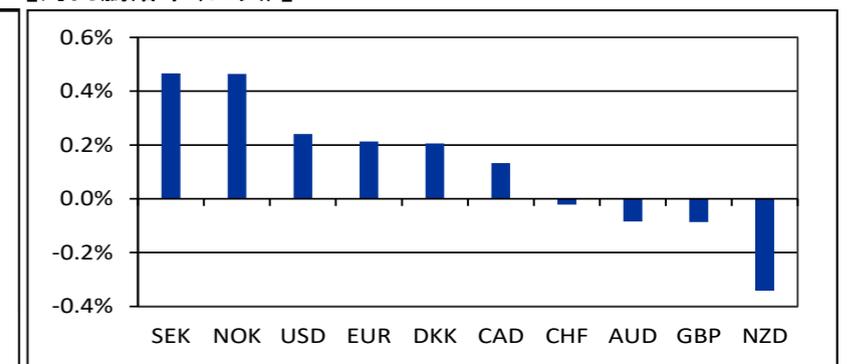
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月25日	15:00	独 GDP(前期比)・確報	2Q 0.0%	0.0%
	17:00	独 IFO指数(企業景況感/現状/期待)	8月 86.8/96/79	88.6/97.7/80.3
	20:30	欧 ECB議事要旨	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	20-Aug 252k	250k
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q S -0.7%	-0.9%
	21:30	米 個人消費	2Q S 1.5%	1.0%
	21:30	米 コアPCE(前期比)	2Q S 4.4%	4.4%
	-	米 ジャクソンホール経済シンポジウム(27日迄)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	136.50-137.70	0.9900-1.0150	135.20-137.80

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は137円を挟んで小幅に上昇する展開。136円後半で米ミネアポリス連銀・カシュカリ総裁のインフレ率押し下げに対するタカ派な発言から底堅く推移するも岸田首相のインバウンド拡大に関する発言から円買いが強まり136.38まで下落。その後海外時間は米金利の上昇にサポートされ137円前半に戻した。本日のドル円は方向感のない展開の継続が基本線と予想。26日に控えるジャクソンホールでのパウエルFRB議長講演にてタカ派な発言がでることへの警戒感からドル買いが強まっているものの、23日の高値である137.70は抵抗線として意識され、材料待ちの状況。一方でユーロドルでパリティ割れの水準からの戻し圧力が出てきており、特にウクライナの情勢に関するヘッドラインにはクロス円でも反応が出やすいと見込まれるため警戒したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 木村・上遠野